



淀川まちセン通信は、淀川区の地域活動協議会に関する情報発信、淀川区まちづくりセンターの活動紹介、多様な地域資源の紹介を目的に発行しています。

各地域では様々な活動がおこなわれています。そのなかで財源確保の問題は避けて通れません。担い手や財源規模拡大が難しくなっている今、「ヒト」「モノ」「カネ」を確保する手段は様々です。今回は、そんな財源確保のための情報を、一部ですがご紹介します。

## プロボノって？

### ■「できること」で、活動を応援する“プロボノ”

最近話題になっている「プロボノ」という言葉、ご存じですか？

「プロボノ」とは、「公共善のために」を意味するラテン語 pro bono publico（プロ・ボノ・プブリコ）を語源とする言葉で、「仕事で培った専門的なスキル・経験等をボランティアとして提供し社会課題の解決に成果をもたらすこと」を意味します。例えば、弁護士が災害時に瓦礫の撤去を手伝うのは「ボランティア」ですが、被災者に無料で法律相談を行うことは「プロボノ」と言えば少し違いがわかるでしょうか。

### ■“プロボノ”はどんな場面が向いているの？

「ヒト」「モノ」「カネ」はいつも足りないから、誰かに手伝ってもらえるならばいつでも、とはなりませんよね。

プロボノに限ったことではありませんが、なにに困っていて、どうしたいのかを伝えることが解決への第一歩です。たとえば、「参加者が集まらない」から「チラシを作って活動をもっと伝えよう」とか、「代表や担当の人がいないと活動が回らない」という時には、「誰でもできるようにマニュアルを作って運営できる人を増やそう」というのもあるでしょう。「困っていることがぼんやりしている」場合には、「課題整理やニーズ調査を行う」ということもあるかもしれません。このように具体的に変化後イメージすることで、団体の課題が具体的に解決され、活動の基礎固めにつながっていきます。

いま、企業等で蓄積した経験・スキルを活かした「プロボノ」を受け入れることは、まちづくりに関わる団体の新しい方策として、その可能性が期待されています。



認定 NPO 法人 サービスグラント

<https://www.servicegrant.or.jp/>

大阪ええまちプロジェクト <https://eemachi.pref.osaka.lg.jp/>

文責：認定 NPO 法人 サービスグラント 堀

## クラウドファンディングって？

自分の想いや夢を形にしたい。でも資金がない。という時に、インターネットを通じて不特定多数の人に資金提供を呼び掛け、一定額が集まった時点でプロジェクトを実行することを可能にする仕組みを“クラウドファンディング”といいます。

クラウドファンディングを運営するサイトの審査が通れば、個人・団体に関係なく誰でもプロジェクトを立ち上げることができます。起案者の想いを多くの人に発信することで、理解者や支援者とのつながりを得る事も魅力のひとつです。

クラウドファンディングは、支援者へのリターンによって『寄付型』『投資型』『融資型』『購入型』『株式投資型』などのタイプがあります。

目的に応じたサイトを見つけて、トライしてみてください。？

＜クラウドファンディング サイト一部紹介＞

- ・Readyfor
- ・CAMPFIRE
- ・FAAVO
- ・GoodMorning by CAMPFIRE
- ・Kibidango

など、多数のサイトがあります。



## 地域公共人材って？

大阪市では、地域活動のさらなる活性化への支援を目的に、自治会・町内会、地活協、NPO など、地域社会のために活動している団体の要請に応じて、さまざまな専門知識やノウハウを持った“人材”を派遣する「地域公共人材」制度があります。

「地域公共人材」活用にあたっての、費用は無料です。『取り組んでみたい事』『解決したい課題』など、利用したいと思われる方は、淀川区市民協働課または淀川区まちづくりセンターへご連絡ください。

大阪市公共人材の詳細は大阪市ホームページをご覧ください。

大阪市地域公共人材

検索





## 助成金等の情報

## 現在募集中の



### ●2019年度国内助成プログラム しらべる助成／そだてる助成（(公財)トヨタ財団）

※A.しらべる助成：地域や人々を取り巻く環境や生じている課題の「調査」および「事業戦略の立案」への助成

B.そだてる助成：地域に関わる多様な人々や組織と課題解決の仕組みづくりや担い手育成「事業」への助成

期間：A.2020年4月1日から2021年3月31日

B.2020年4月1日から2022年3月31日

助成金額：A.上限100万円/件

B.上限なし（過去3年平均654万円/2年）

応募期間：2019年8月19日(月)～9月30日(月)15時

<http://www.toyotafound.or.jp/community/2019/>

### ●花博記念協会助成金

((公財)国際花と緑の博覧会記念協会)

※国際花と緑の博覧会の「自然と人間との共生」という理念の継承、発展または普及啓発に資する、「花と緑」に関連する、科学技術、文化の発展・交流に寄与するもの。

期間：2020年4月1日～2021年2月28日

助成金額：①調査研究：一件当たり100万円以内

②活動・行催事：一件当たり50万円以内

③復興活動支援：一件当たり50万円以内

応募期間：2019年8月1日(木)～9月13日(金)(消印有効)

<https://www.expo-cosmos.or.jp/uploads/zyosei/pdf/>



## お知らせ

### 第2回子どもの安全・安心フェスティバル 子どもの交通事故防止・応急処置講演会

日時：9月4日(水)10時～11時30分

場所：淀川区役所 503・504会議室

講師：藤川 ナオキ氏(元消防士・防災士)

参加費：無料(事前申し込み不要)

定員：100名(当日先着順)

今年5月に大津市で、信号待ちをしていた園児達が車の事故に巻き込まれるという痛ましい事故がありました。

子どもが事故に巻き込まれないための注意点、万一子どもが怪我をした時の救急車の呼び方、応急処置など、藤川ナオキ氏を講師にお迎えして、救急対応についてお話しをしていただきます。



### よどまち未来セッション

『地域と企業・NPO・学校等との防災交流会』  
みんなで考える“防災連携”

日時：10月11日(金)19時～21時

場所：淀川区役所 501・502会議室

現在、まちづくりセンターでは、区内の企業に対して、地域連携についてのアンケートを実施しています。

アンケートの結果を踏まえ『防災』をキーワードに、地域と企業・NPO・学校等との連携の形を皆さんと一緒に考えたいと思います。

詳しくは、後日配布のチラシをご覧ください。



### 淀川区まちづくりセンター

〒532-8501 大阪市淀川区十三東2-3-3 淀川区役所4階

TEL 06-6309-5656 FAX06-6309-5657

mail yodogawa-machikyuu@festa.ocn.ne.jp

HP <http://yodomachi.jimdo.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/ymachisen>



今回のまちセン通信は、財源確保のための情報を掲載しました。想いを実現させる手段として、様々な方法があります。参考にいただければと思います。